

播磨 まちかどニュース

With いなみ野学園

瓦版



兵庫県いなみ野学園では、大学院生などの受講生が自主制作として、地元ケーブルテレビ局「BAN-BANテレビ」と協働し、テレビ番組「播磨まちかどニュース With いなみ野学園」を制作しています。学園内外の魅力的な活動を映像で紹介する15分の番組です。瓦版では、これまでの配信動画の内容を紹介しています。

★★最新の配信動画★★

現在、いなみ野学園ホームページに掲載している動画をご紹介します。

播磨まちかどニュース with いなみ野学園 88 ◆配信日：令和6年12月1日◆

- ① 鶴林寺であそぼう！文化施設フェスティバル
- ② 園児たちの芋ほり体験



《① 鶴林寺であそぼう！

文化施設フェスティバル》

今回が第1回となる「文化施設フェスティバル」が、加古川市が誇る聖徳太子ゆかりの寺、鶴林寺を会場に開催されました。



令和6年10月27日(土)、鶴林寺での「第1回文化施設フェスティバル」。鶴林寺は、聖徳太子の寺としてつとに有名です。高句麗の僧、恵便法師が廃仏派の迫害から逃れ、この地に身を隠しておられた時、聖徳太子はその教えを受けにはるばる奈良からやってこられました。そしてここを「刀田山(とたさん)四天王寺聖霊院」と名付けられたことが、このお寺の始まりだと言われています。

今回参加された関連施設は、刀田山鶴林寺、兵庫県立考古博物館、加古川総合文化センター、ひょうご考古楽倶楽部、いなみ野水辺の里公園、そして兵庫大学エクステンション・カシ

ツジの6つです。

まず、**刀田山鶴林寺**のプログラムは、「君の知らない鶴林寺へ」をテーマに、スマホを見ながらマップ片手に「不思議を発見」しながら見て回るものです。スマホで情報を受信しながら、それを子どもに読み伝える「親子学習」ができる仕組みです。

続いて、**兵庫県立考古博物館**が運営する「土器パズル！」のコーナー。陶器の破片を組み合わせるパズルで、くっつくところが磁石となっていて一度くっつくと離れないため、子どもたちも気軽に参加ができました。



鶴林寺の不思議発見



土器パズル

土器パズル

次は、**加古川総合文化センター**の「オリジナル缶バッジを作ろう！」のコーナー。直径4センチの大きさに切ったサイズなら、写真でも絵でも、イラストや文字などもみな、缶バッジにしてくれました。

ひょうご考古楽倶楽部の「万葉仮名で名札をつくろう！」コーナーでは普段の名前と違った漢字で自分の名札を作りました。それが自分の名前とちょっと違うところが「カッコいい」と、結構みなさんに好評でした。

いなみ野水辺の里公園は「ハロウィン飾りを作ろう！」。ドングリやクルミに色を塗って作ったこもりを木切れにボンドで貼り着ける。手作り感いっぱいのハロウィン飾りの完成です。

最後に、**兵庫大学エクステンション・カレッジ**の「パズル絵本と紙芝居で遊ぼう！」コーナー。「あにまるずシリーズ」と言う紙芝居、隠れた動物は何か考えながら当てていく仕組み。また、牛乳パックを8個組み合わせて10場面が展開するパズル形式の紙芝居。それぞれに工夫された手作り作品が用意されていました。



万葉仮名で名札を作ろう



ハロウィン飾りを作ろう



パズル絵本と紙芝居

大勢の親子で賑わった今回の「フェスティバル」、参加されたみなさんはとても楽しめたのではないのでしょうか。自分たちが直接参加して楽しめたことが、「面白かった」につながったと思います。親子一緒に参加できて、ひとときを楽しく過ごせ、また、いろいろな学びができたことは、とてもよかったなあと思いました。来年の第2回も楽しみにしたいですね。

《② 園児たちの芋ほり体験》



続いて、園児たちの「芋掘り体験」の様子をお伝えします。

「わー、大きい、すごい!」、「先生、見て、大きいのが取れたで!」と、大喜びする子どもたち。令和6年11月1日(金)の朝10:30から、兵庫大学附属幼稚園の園児たちの「芋掘り体験」が行われました。



子どもたちは、畑から掘り出されるサツマイモに、みんな大喜び。各自、スコップと収穫

した芋を入れるビニール袋を手にして、割り当てられた自分の畑をスコップで掘りました。ただ、土が固くて、なかなか思うようには掘れません。先生やスタッフのみなさんが大きなスコップで掘り起こしてくれ、ようやく顔をのぞかせたサツマイモを引き抜きました。大きなものは、袋に入れるとずっしりと重いと思うほど。「ぼく5つも取れたで」と言う子、「〇〇ちゃん、これあげる」と渡してあげる子、「先生、見て見て」と、取り出した芋を誇らしげにアピールする子も。ツルに3つ、4つと一緒にくっついている芋もあり、ビニール袋に

入れて持ち上げると「あー、重た」。それほどずっしりと収穫できました。全員がスコップと袋を手に晴れやかな表情で、「ありがとうございました」と挨拶をして、今回の「芋掘り体験」は終わりました。「きてよかった、たくさん取れてよかった」と全員がそう思った、今回の「芋掘り体験」となりました。

きっと、お母さんも喜ばれ、早速、芋のご飯や芋料理を作ってくれたのではないのでしょうか。楽しくやれて本当によかったですね。

(ナレーション：吉川千代子)



播磨まちかどニュース with いなみ野学園 89 ◆配信日：令和6年12月16日◆

第51回いなみ野祭～みんなの和 地域の輪 絆でつなく～



いなみ野学園一番の行事である学園祭「いなみ野祭」が、51回目を迎えました。

今年は「みんなの和 地域の輪 絆でつなく 第51回いなみ野祭」をテーマとして令和6年11月16日(土)・17日(日)の2日間、開催されました。

一日目の土曜日、9時30分から始まり、初めに坂本哲也生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長と主催者代表の藤村清春大学自治会会長のあいさつでした。坂本学園長は、「みなさんの祭り、大いに盛り上げてアピールしてください」とのエールがあり、藤村自治会長は「全学生が一体となって開催する学園祭を、全員でがんばりたい」と答えられました。お二人のあいさつの後、野北浩三東播磨県民局長は「なぜ学びを始めたのか、人生を豊かにするためと実感している皆さん、生涯に渡る学びを続けて下さい」と話していただきました。

10時、大講堂では演芸部門が始まりました。歌謡曲クラブからスタートをして、以後は、詩吟、マジック、銭太鼓、民謡、社交ダ

ンス、英語劇と続き、日頃の練習の成果を精いっぱい披露しました。それに応えて、会場からは演技が終わるたびに大きな拍手が沸いていました。



一方、他の教室では、書道、水墨、手描き友禅、絵手紙、写真、絵画などの作品展示発表がなされ、次々と鑑賞にいられていました。また、手作りの店の前や芝生広場では、野菜、果物、陶芸品などの即売が、また、タイ焼きや焼き芋、文房具類の販売もありました。



午後からの演芸発表も、文化4年生の「ミュージカルに挑戦」の披露から始まり、南京玉すだれ、フラダンス、青春ソング、太極拳などの発表が続きました。これで1日目のプログラムが全て終了。

明けて2日目(日)。雨が上がって曇り空に。天気が回復して何より良かったです。2日目、午前10時に開催。初めに長尾一男大学院自治会長のあいさつでスタートし、一番目は謡曲クラブからの発表披露がありました。その

後は、社交ダンス、歌謡曲、詩吟、太極拳、男声コーラスと続き、午前の最後に兵庫大学吹奏楽部の演奏でした。

一方、芝生広場では太極拳、古式なぎなたの演武や踊っこグループの踊り、そして子どもたち参加のグラウンドゴルフなども行われました。また、即売会場では大勢のみなさんが並んで待つほどの人出で、こちら也大いに盛り上がっていました。

午後からの演芸発表はマジックやフラダンス、銭太鼓などと続き、最後はコーラス部による合唱で締めくくりました。山則泰隆大学自治会副会長の閉演のあいさつと全員で「学生時代」を大合唱して、すべてのプログラムを終えることができました。



今回の51回目の「いなみ野祭」も、演芸大会を初め作品展示、屋内屋外イベント、即売会などと、大いに盛り上がるものとなりました。初めのあいさつで坂本学園長が話された通り「参加したみなさんで盛り上げ大いにアピールしてください」と、正にその通りのお祭りとなったなあと思います。それは、ひとえに大勢のみなさんが一致協力してできたからです。そして、来年もまた、この場で仲間と会いましょう、楽しみましょう。(ナレーション：大前 小夜子)

【いなみ野学園 動画配信ホームページ】

https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/video/video_inamino_summary.html

《編集・発行》

いなみ野学園 ビデオ制作委員会 (いなみ野学園大学院講座・研究生) ☎ 079-424-3342

